

姫路市消防団の災害時における応急処置への取組

～消防団員セーフティ・ファーストエイド研修～

消防団員等公務災害補償等共済基金（消防基金）

1 消防団員セーフティ・ファーストエイド研修とは

消防基金では、消防団員の公務災害防止対策を普及推進するため、公務災害防止研修を実施する市町村等に対し、講師のあっせんや教材の提供などの後援を行うとともに、助成金を交付しています。それらの研修の中から、消防団員セーフティ・ファーストエイド研修（Aコース）（以下、「S-FA研修」という。）をピックアップしてご紹介します。

S-FA研修は、災害現場等で消防団員が自身の安全を確保した上で、負傷者に対して圧迫止血などの応急手当を実施するファーストエイド（外科的応急処置）と災害現場等での悲惨な体験や恐怖を伴う体験等により急性ストレス障害を発症した者に対するPFA（心理的応急処置）を適切に実施するための基礎知識とその実技を習得することを目的とした3時間のコースです。

2 研修の講師

消防基金では、日本災害医学会からご推薦いただいた外科的応急処置の専門技術を有したS-FA研修の講師（S-FA研修指導員。以下、「指導員」という。）やPFA指導者を研修会の開催地に派遣しています。

講師の謝金等は消防基金が助成しますので、実施団体のご負担なく研修を受けていただくことができます。

この研修では、地震災害や豪雨災害、新型コロナウイルス感染症への対応にいたるまで、様々な災害医療現場の最前線で活躍している現役のDMAT隊員などが指導員を務めており、被災地での活動経験に触れながら、S-FA研修で学ぶことが実際の現場でどのように生かせるかを受講団員に伝えられるよう心がけています。

- ※DMAT : 大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム
- ※PFA指導者：国際NGOセーブ・ザ・チルドレンとDPAT事務局（厚生労働省委託事業）が共催するPFA指導者育成研修を受講し、「PFA指導者名簿」に登録された者
- ※DPAT : 自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチーム

3 研修カリキュラム

S-FA研修のカリキュラムは、「災害医療概論20～30分程度（座学）」、「災害時におけるメンタルヘルスカケア60～70分程度（座学・ロールプレイ）」、6人ずつ6班に分かれて行う「災害時における応急手当60～70分程度（実技）」で構成されています（休憩等を含むと概ね3時間）。

（1）実際の研修の様子（姫路市消防団）

令和5年11月12日（日）には姫路市消防団で、加藤渚指導員、益満茜指導員、そして、杉本聡PFA指導者の3名の講師によりS-FA研修が開催されましたので、その様子に触れながら、研修の内容をご紹介します。



消防団員等公務災害補償等共済基金
岡本誠司常務理事挨拶

姫路市は、8つの消防団に72個分団が組織されています。すべての分団の団員がこの研修を経験し、学んだことを所属の分団に持ち帰ることができるように、各分団から代表1名の参加を募り、計72名（うち36名は実技見学）を対象

にS-FA研修を毎年開催しています。平成30年度以降、これまでに受講された団員の人数は、延べ311人に上ります。

なお、姫路市S-FA研修の当日のカリキュラムは次のとおりでした。

【姫路市S-FA研修カリキュラム】

時間	項目	細部実施項目	形式	担当
8:00～ 9:00	60 打合せ等	会場等準備・講師打合せ	—	会場等準備：各署庶務担当 講師打合せ：消防団担当員、救急課員 (姫路東・姫路西・飾磨・網干消防署救急救命士)
8:45～	15 受付		—	各署庶務担当
9:00～ 9:10	10 開会式	開会挨拶 講師紹介	—	姫路支部長 消防団担当
9:10～ 9:30	20 災害医療概論	S-FA研修紹介 消防団員の負傷等の現状 災害現場における応急処置の基本的事項	スライド 座学 座学	講師：加藤渚 (S-FA研修指導員・DMAT隊員)
9:30～ 10:40	70 災害時におけるメンタルヘルスケア	人道支援 災害時のメンタルヘルス PFA（心理的応急処置）	座学 座学 ロールプレイ	講師：杉本聡 (PFA指導者・社会医療法人 さわ病院)
10:40～ 10:50	10	移動・休憩		
10:50～ 11:50	60 災害時における応急手当	応急手当のデモンストレーション（悪い例・良い例） 状況評価、初期評価及び救急隊への申し送り等 圧迫止血及び穿通性遺物の固定（エマージェンシー・バンテージの使用方法） 総合訓練	展示 実技実習 実技実習 実技実習	講師：加藤渚（S-FA研修指導員・DMAT隊員） 益満茜（S-FA研修指導員・DMAT隊員） 講師補助者：救急課員（2人） 姫路東・姫路西・飾磨・網干消防署救急救命士（各1人）
11:50～ 12:00	10 閉会式	セーフティ・ファーストエイドキット贈呈 講評 閉会の挨拶	—	総務課長
12:00～ 12:10	10	アンケート記入	—	消防団担当

(2) 災害医療概論

災害医療概論では、消防団活動における消防団員の負傷状況や災害現場における応急処置の基本的事項について座学講義で学びます。



災害医療概論講義

この日の研修では、加藤渚指導員が講師を務めました。

(3) PFA（心理的応急処置）

災害時におけるメンタルヘルスケアについて、具体例を用いて解説するとともに、「傾聴」のテクニックを実技を織り交ぜながら学びます。この日の講師は、杉本聡PFA指導者が務めました。

(4) 外科的応急処置の実技指導

実技編では、最初に災害時における応急手当のデモンストレーション（悪い例・良い例）をみて、各々の任務の流れを確認します。この日のS-FA研修では、実際に大規模災害が発生したときに互いに連携して活動することに

なる地元姫路市消防局の6名の救急救命士に講師補助者としてご協力をいただきました。6名ずつに班分けされたグループで行う圧迫止血や穿通性異物の固定の方法、負傷者の状況判断な

どの実技指導の時間を通して、互いに顔の見える関係を築いていただく機会にもなっています。



実技指導の様子

(5) 感染防御

血液曝露による感染から身を守るため、正しい手順で手袋を着ける方法を学びます。

この日は、益満指導員と、地元姫路市消防局の救急救命士が指導しました。



感染防御 (手袋の着け方)

(6) 総合訓練

総合訓練では、災害現場でどのような応急処置を行うのかを、負傷者発生から救急隊への引継ぎまで、現場を想定した一連の流れを通して

行うことで具体的にイメージして理解することができます。

この日は、加藤指導員、益満指導員、地元姫路市消防局の救急救命士が指導しました。

●内容

- ①状況評価
- ②感染防御
- ③傷病者評価
- ④圧迫止血
- ⑤申し送り



●実習時間

15分

●見学者は、自分がやっているつもりで見学



(7) 研修を受講して (感想)

研修を終えた姫路市の消防団員からは、「被災地で活動された講師の経験談を聞いて、この研修の内容が実災害のどんな場面で活かせるかのイメージを持って受講できた」、「ここでしか

聞けないお話が聞けた」と好評をいただいています。また、「普段の訓練に心理的応急処置も取り入れたい」、「今回参加できなかった団員にも伝えたい」、「今後の消防団活動に繋げていきたい」などの前向きな意見が寄せられました。



研修終了後に記念撮影

4 消防団担当者の方へ

消防基金は、研修に係る経費を助成しています。ぜひ実施をご検討ください。

【助成対象経費】

S-F A 研修の実施に要した経費のうち、次に掲げるものの合計額としています（講師旅費を除き、40万円を限度）。

経費の種類	助成額（消費税を含む。）の基準
講師謝金（所得税を含む。）	土・日・祝日に実施 1人につき 講師 40,000円、講師補助者 20,000円
	上記以外の日に実施 1人につき 講師 32,000円、講師補助者 15,000円
講師旅費	基金の規程に準じた額
会場借上料・ 機材使用料	実費
食事代・飲料 (茶)代	1人につき1,080円を限度とした実費
諸雑費	実費

※詳細は、消防基金ホームページをご覧ください。

【消防基金が助成・後援する研修のご活用】

各市町村等の消防団事務担当者・消防団幹部におかれましては、消防団員の公務災害防止を図るため、消防基金の公務災害防止研修の積極

的な活用をお願いします。

(助成・後援対象の研修)

- ・消防団員安全管理セミナー
- ・S-KYT（消防団危険予知訓練）研修
- ・消防団員健康づくりセミナー（Aコース、Bコース、Cコース）
- ・消防団員セーフティ・ファーストエイド研修（Aコース、Bコース）

(問合せ先) 消防基金企画課

E-mail : kikaku@syouboukikin.jp

電話 : 03-5422-1715

(参考資料) 研修の詳細については、消防基金HP（各種ダウンロードのページ）に掲載の次の資料をご覧ください。

- ・「消防団員公務災害防止研修事業実施要領」(PDF)
- ・パンフレット「消防団員公務災害防止研修のごあんない」(PDF)

「消防基金HPトップページ」⇒「各種ダウンロードのページ」

(URLは、<https://www.syouboukikin.jp/download/>です。)

